

1. 概要

- ワンキー・マウスは、すべての操作を1つのスイッチで行う、コンピュータ用入力装置です。
- スイッチを短く押してマウスのカーソル移動を行います。
 - (1) スイッチを短く押すとマウスカーソルが右に動きだします。
 - (2) カーソルが動いている時にスイッチを短く押すと、移動方向が直角方向に変わります。
 - (3) 移動方向はスイッチを押すごとに右—下—左—上—右...と変わってゆきます。
 - (4) カーソルが希望の位置に来たらスイッチを長く押すとカーソルが止まります。
- スイッチを長く押してマウスのボタン操作を行います。
 - (1) カーソルが止まっているときにスイッチを長く押すと左ボタンクリック操作になります。
 - (2) 長く押す操作を2回続けるとダブルクリックになります。
 - (3) 3回続けると右クリックになります。
- スイッチ操作の長短を組み合わせてさまざまなマウス操作ができます。
 - (1) スイッチを長く押す操作(クリック)に続けて短く押す操作(カーソル移動)を行うと、ボタンを押したままのカーソル移動(ドラッグ)を行うことができます。
 - (2) スイッチを長く押してカーソル移動を止めると、ドラッグ動作も終了します。
 - (3) 長短のスイッチ操作の組み合わせで、スクロール操作などができます。
- Windows、Mac OS、Android で使用できます。
 - (1) コンピュータ側のドライバはOS標準の物を利用するため、アプリケーションソフトとの「相性」による動作不良が起こりにくく、OSをバージョンアップしてもそのまま使用できます。
 - (2) 設定内容はコンピュータではなくワンキー・マウス内に記憶されるため、コンピュータを共用する場合などにそれぞれが使いやすい設定を維持できます。
 - (3) コンピュータとの接続にはUSBを使用し、電源は USB を通してコンピュータ本体より供給されます。
 - (4) Android スマートホンでは「ホーム」ボタンなど画面外にあるボタンの操作や、スワイプなどタッチパネル特有の操作を行うことができます。
- 操作速度など使用状況に合わせた設定変更をユーザー自身が行うことができます。



2. 準備

- 接続
 - (1) 「スイッチ」ジャックに操作用スイッチを接続してください。(スイッチは付属しません)
 - (2) 操作用スイッチは 3.5mm ミニプラグ付きのものを使用してください。
 - (3) USB ケーブルをワンキー・マウスに差し込み、コードのもう一方をコンピュータの USB ポートに差し込んでください。
 - (4) スマートホンの場合は、ワンキー・マウスの USB ケーブルに市販の USB ホストケーブル (OTGケーブル)を接続して、スマートホンのUSB/充電コネクタに接続してください。
- インストール
 - (1) コンピュータの電源を入れOSが起動した状態で USB ポートにワンキー・マウスを接続してください。
 - (2) 数秒後に ワンキー・マウスのブザーが「ピッ」と鳴ればインストール完了です。

3. 使い方

* 印: 設定変更可能

3-1. 基本操作

- **スイッチ操作**

- (1) 操作スイッチを短く押すか、長く押すかの違いで操作内容を選択します。
- (2) 長短を区別する時間は約 0.5 秒*で、長く押すとブザーが鳴ります*。

- **カーソル操作**

- (1) スイッチを短く押す操作でマウスカーソルの移動方向を選択します。
- (2) マウスカーソルが停止した状態で短く1回押すと、カーソルが右*に移動を開始します。
- (3) カーソルが右移動中に短く1回押すと、カーソルの移動方向が下*方向に変わります。
- (4) さらに短く1回押すと、左*方向に移動をはじめます。
以降短く1回押すごとに移動方向が 90 度ずつ変わります。
- (5) 移動中のカーソルを停止させるには操作スイッチを長く押します。
- (6) 停止後短く押す操作で再び移動を開始するときは右*移動から始まります。

- **ボタン操作**

- (1) スイッチを長く押す操作でマウスボタン操作を行います。
- (2) マウスカーソルが停止した状態で長く1回押すと、左クリックが行われます。
- (3) マウスカーソルが停止した状態で長く押す操作を2回続けて行くと、ダブルクリック*が行われます。
- (4) マウスカーソルが停止した状態で長く押す操作を3回続けて行くと、右クリック*が行われます。

3-2. 応用操作

- **連続操作(組み合わせ操作)**

- (1) 短く押す操作を続けて行くと、カーソルの移動方向が中間の移動方向を経ず一気に変わります。
たとえば右移動中に短く2回押すとカーソルは下に移動することなく左へ移動します。
- (2) マウスカーソルが停止した状態で長く1回押すと、左クリックが行われますが、続けて短く押す操作を行うと、左ボタンが押されたままカーソルが移動するドラッグ動作となります。
- (3) ドラッグ動作の解除(ドロップ)は長く1回押してカーソル移動を止めたときに行われます。
- (4) 右クリック操作直後に短く押して移動を開始すると右ドラッグ動作となります。

- **スクロール操作**

三種類のスクロール操作方法があります。

- (1) スイッチを「- - -」「- - - .」と押す方法
 - ① スイッチを「- - -」(長短長)と押すと、マウスのスクロールホイールを手前に回す操作となり、画面が下へスクロールします。(文書が上に流れ下の方が見えるようになります)
 - ② スイッチを「- - - .」(長短長短)と押すと、マウスのスクロールホイールを奥に回す操作となり、画面が上へスクロールします。(文書が下に流れ上の方が見えるようになります)
 - ③ スクロール量は「コントロールパネル」(Windows)、「システム環境設定」(Mac OS)の「マウス」で調節できます。

(2) スクロールボタンのクリック操作で行う方法(Windows)

- ① 設定ソフトで「長押し3回(または4回)の機能」を「3: 左右両クリック」に設定します。
- ② スイッチを「――」(長押し3回)または「―――」(長押し4回)と押すと、スクロールボタンのクリック操作が行われ、アプリケーションソフトが対応している場合、カーソル位置に右のようなアイコンが現れます。
- ③ ②の状態からカーソルを上を動かすと、画面が上へスクロールします。
- ④ ②の状態からカーソルを下を動かすと、画面が下へスクロールします。
- ⑤ スクロール操作は、スクロール(カーソル移動)停止後、長押し1回(クリック)で終了します。



(3) スクロールボタンのドラッグ操作で行う方法(Windows)

Adobe Reader でスクロール操作を行うにはこの方法が適しています。

- ① 設定ソフトで「長押し3回(または4回)の機能」を「7: 画面左下端にジャンプ」に設定します。
(追加した機能のため表示と実際の機能が異なります)
- ② スイッチを「――」(長押し3回)または「―――」(長押し4回)と押すと、スクロールボタンが押されたままの状態(ドラッグ)となり、アプリケーションソフトが対応していれば、カーソルが右図のように変わります。
- ③ ②の状態からカーソルを上を動かすと、画面が上へスクロールします。
- ④ ②の状態からカーソルを下を動かすと、画面が下へスクロールします。
- ⑤ スクロール操作は、長押し1回(クリック)またはスクロール(カーソル移動)停止で終了します。



● 低速移動

- (1) スイッチを「短長」と押すと低速でカーソル移動が始まり、細かいアイコンなどにカーソルを合わせやすくなります。
- (2) スピード切り換えはカーソル移動中でもできます。
- (3) 低速移動中もう一度スイッチを「短長」と押すと、通常のスピードに戻ります。
- (4) 低速移動中スイッチを長く押してカーソルを止めると、つぎの移動は通常のスピードで始まります。

● ワンショット操作

操作した瞬間のみオンとなり長押し操作ができないワンショット出力タイプのスイッチ/センサーで操作できるようになります。設定変更が必要です。

- (1) スイッチ自体は長押し操作ができるタイプであっても、長押し操作がやりにくい場合、短く押す操作だけで使用できるようになります。
- (2) 操作内容をスイッチの操作回数で選択します。
 - ① 短1回:カーソル移動開始/移動方向切換(通常動作時と同じ)
 - ② 短2回:左クリック/カーソル停止、ドロップ(通常動作の長1回と同じ)
 - ③ 短3回:右クリック/低速切換(低速切換は移動中のみ)
 - ④ 短4回:ダブルクリック/移動方向反転(Uターン)
 - ⑤ 短5回:ドラッグ/ドロップ(移動中も可能)
- (3) 長押しできる場合一部長押し操作と併用できます。
 - 長1回:左クリック/カーソル停止

- (4) 速度切換はカーソル移動中のみ可能です。一旦通常速度で移動を開始してから低速に切り換えてください。停止操作は低速のままできます。
- (5) ドラッグ操作はカーソル移動中も可能です。カーソル移動中にドラッグ操作を行うと移動方向を変えずにドラッグ(左ボタンオン)できます。(通常は停止状態からドラッグ開始)
- (6) ドラッグ中にさらにドラッグ操作を行うとドロップ操作(左ボタンオフ)となります。この場合カーソル移動は継続します。(通常は短2回「**⋯**」でドロップと停止)
- (7) ワンショット操作にするには設定変更ソフトで「長押し後連続操作時間」を「1」(最長)に設定します。(設定変更ソフトでコメントは特に表示されません)
- (8) 設定変更ソフトの操作にはスイッチの長押しが必要です。ワンショット出力タイプのスイッチの場合は設定用に長押しのできるスイッチを別に用意してください。
- (9) スイッチによってはワンショット出力時間が長く、長押しと認識されてしまうことがあります。その場合「長／短切り分け時間」を長く(数値を小さく)設定してください。長押しを使わなければ最長「1」にして支障ありません。
- (10) スイッチの連続操作のあいだに時間があくと、別々の短1回操作と認識され、たとえば左クリック「**⋯**」が「**⋅**」+「**⋅**」と認識されてカーソル移動／方向切換動作となります。連続操作しにくい場合は「短押し後連続操作時間」を長く(数値を小さく)設定してください。ただし、長くするほどスイッチ操作からカーソルの反応やクリック動作までの遅れが大きくなります。

3-3. スマートホン／タブレット(Android)での操作

● 拡大・縮小(ピンチアウト・ピンチイン)

タッチパネルを二本指でつまむピンチアウト・ピンチイン操作を代替します。

- (1) ダブルクリックのスイッチ操作と、カーソル移動のスイッチ操作を続けて行くと、拡大・縮小操作になります。
- (2) ダブルクリックを長押し2回に設定している場合は、長押し2回「**—**」とカーソル移動の短押し「**⋅**」を、間を開けずに「**—⋅**」と操作すると、ダブルクリック後ボタンが押されたままカーソルが右に移動を開始します。
- (3) 次に、短押し1回「**⋅**」を行うと、カーソルの移動方向が下に変わり、画面が徐々に拡大します。
- (4) 移動開始操作の「**—⋅**」と、方向を変える短押し「**⋅**」は、「**—⋅⋅**」と続けて操作してもよく、その場合カーソルは右移動せず下移動から開始します。
- (5) 縮小は、(2)の「**—⋅**」操作の後カーソル上移動のために短押しを3回「**⋅⋅⋅**」行います。この場合も「**—⋅⋅⋅**」と続けて操作することができます。
- (6) 拡大・縮小の終了は、通常のカーソル操作と同じで長押し1回「**—**」です。
- (7) カーソルが画面の端まで行くとそれ以上拡大・縮小できなくなります。その場合は一旦カーソルを止め、通常のカーソル移動で反対側まで移動し、もういちど拡大・縮小操作を行ってください。
- (8) Android のバージョンやアプリによって対応／非対応があります。また、指ではピンチアウト・ピンチインができてマウスではできない場合があります。
- (9) ダブルクリックを長押し4回に設定している場合「**— — — — ⋅⋅⋅**」と操作すると、接続先切換操作となり縮小操作を行うことはできません。「**— — — — ⋅ ⋅⋅**」のように分けて(間を開けて)操作してください。また、長押し4回は下記のスワイプでも使用するので、ダブルクリックは長押し2回か3回に割り当ててをお勧めします。

● スワイプ(ロック解除)

Android でタッチパネルをさっとなでるスワイプ操作を代替します。設定変更が必要です

- (1) スワイプ操作はほとんどの場合マウスのドラッグ操作で代替できます。ドラッグはクリック操作の長押し1回「-」と、カーソル移動の短押し1回「・」を続け「-・」と操作します。
- (2) スリープ復帰時のロック解除が、ドラッグ操作でできない場合はスワイプ操作を試してください。
- (3) スワイプ操作は長押し3回または4回で行います。あらかじめ設定ソフトで「長押し3回の機能」または「長押し4回の機能」を「8:画面左上端にジャンプ」に設定してください。
(追加した機能のため表示と実際の機能が異なります)
- (4) スワイプ操作を行うと、高速のドラッグが一定距離だけ行われた後、ドラッグが解除されてカーソルが逆方向に同じ距離だけ移動します。
- (5) スリープからの復帰時であればロック解除となり、通常操作時は画面がカーソルの移動方向にスクロールして別画面が現れます。
- (6) スワイプの方向は直前のカーソル移動の方向と同じになります。たとえば右の画面を見るために左へスクロールしたい場合は、通常のカーソル移動でカーソルを左へ少し動かして止め、その後長押し3回または4回を行います。これにより画面を右から左へなでるスワイプ操作となります。
- (7) 接続先設定をスマートホンモードにすると、長押し3回と長押し4回が別の機能になり、スワイプ操作ができません。その場合は設定切り換えのB設定をPCモードにして、スワイプが必要なときにB設定に切り換えてください。

● 設定ソフトの表示と実際の設定内容の対応

長押し3回の機能、長押し4回の機能

設定値	設定ソフトの表示	実際の設定内容
1	ダブルクリック	左ボタンダブルクリック
2	右クリック	右ボタンクリック
3	左右両クリック	スクロールボタン(中ボタン)クリック
4	直前の移動方向にジャンプ	直前の移動方向にジャンプ
5	画面右上端にジャンプ	画面左上端にジャンプ
6	画面右下端にジャンプ	画面左下端にジャンプ
7	画面左下端にジャンプ	スクロール(スクロールボタンドラッグ)
8	画面左上端にジャンプ	スワイプ(左ボタン高速ドラッグ)

● ケータイ打ちモード

スマートホンの文字入力をやりやすくします。設定変更が必要です。

- (1) スイッチを約2.4秒長押しするとブザーが鳴ってケータイ打ちモードになります。
- (2) ケータイ打ちモードでは、スイッチ操作がそのまま左クリック操作になり、スマートホンで文字入力をトグル入力で行うときや、PCでスクロールバーを連続してクリックしたいときに使用します。
- (3) スイッチ操作を約2.4秒行わないとブザーが鳴ってケータイ打ちモードから通常状態に戻ります。
- (4) ケータイ打ちモードのありなしを選択するには、スイッチを長4回短4回「- - - - -」と続けて押して接続先切り換え状態にします。
- (5) 接続先切り換え状態でスイッチを長4回短3回長1回「- - - - -」と続けて押すと、ケータイ打ちありなしが交互に切りかわり、なしのときはブザーが1回、ありのときはブザーが2回鳴ります。

- (6) スイッチを短く1回押すと、通常状態に戻ります。
- (7) 設定は電源を切っても保持され、次回も同じ設定で起動します。

- ホームボタン操作

設定変更が必要です

- (1) 「ホーム」ボタンなどが画面の外にあってマウスでは操作できない場合、スマートホンモードに設定変更すると操作可能になります。

ただし一部機能が操作できなくなるため、ボタンが画面内にあるスマートホンでの使用ではPCモードが適しています。

- (2) スマートホンモードとPCモードでは以下の操作が異なります。

スイッチ操作	スマートホンモード	PCモード
—	タップ	クリック
— —	「ホーム」ボタン	ダブルクリックなど
— — —	「戻る」ボタン	右クリックなど
— — — —	「メニュー」ボタン	スクロールなど
— — . — —	画面消し(スリープ)	なし

4. スイッチ操作一覧

∴: スイッチを短く押す –: スイッチを長く押す *: 設定ソフトで変更可能

[A]: Android モード [S]: セーフティモードでは操作不可

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	右*へ移動開始	右*へ曲がる	
—	クリック	停止、ドロップ	
— —	ダブルクリック*		[A]「ホーム」ボタン
— — —	右クリック*/スクロール*		[A]「戻る」ボタン
— ∙	ドラッグ 右*へ移動開始		クリック+右移動
・ —	低速で右*へ移動開始	速度切り換え	
∴ ∴	下*へ移動開始	Uターン	右折2回
∴ ∴ ∴	左*へ移動開始	左*へ曲がる	右折3回
∴ ∴ ∴ ∴	上*へ移動開始		
— — — ∙	右ドラッグ* 右*へ移動開始		右クリック+右移動
— — — ∙	ピンチアウト・ピンチイン*		ダブルクリック+右移動
— — — —	スクロール*/スワイプ*		[A]「メニュー」ボタン
— — —	上へスクロール		ホイール
— — — ∙	下へスクロール		ホイール
— — — —	スピードアップ ①		[S]
— — — —	スピードダウン ②		[S]
— — — — —	低速移動スピードアップ ③		[S]
— — — — ∙	低速移動スピードダウン ④		[S]
— — — — ∴	低速移動時間短く ⑤		[S]
— — — — —	低速移動時間長く ⑥		[S]
— — — — —	加速時間短く ⑦		[S]
— — — — —	加速時間長く ⑧		[S]
— — — — —	第2の設定へ切り換え		[S] [A]画面消し
— — — — — —	設定ソフト操作		[S]
— — — — — — ∙	Mac 用設定		[S]
— — — — — — ∴ ∴	Android/PCモード切り換え		

◆ ワンショット操作 (以下の操作のみ可能)

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	カーソル移動開始	移動方向切換	通常動作と同じ
∴ ∴	左クリック	停止、ドロップ(ドラッグ中)	長1回「—」と同じ
∴ ∴ ∴	右クリック	速度切換	速度切換は移動中のみ可能
∴ ∴ ∴ ∴	左ダブルクリック (短2回の2回繰り返し)	移動方向反転 (左←→右、上←→下)	
∴ ∴ ∴ ∴ ∴	ドラッグで移動開始	ドラッグ(移動中) ドロップ(ドラッグ中)	
—	左クリック	カーソル停止	短2回「∴ ∴」と同じ
— — — — —	設定ソフト操作	なし	

ワンショット操作にするには設定変更ソフトで「長押し後連続操作時間」を「1」(最長)に設定します。

5. 設定

設定ソフトを使用した設定と設定ソフトを使用しない設定があります。

いずれもユーザー自身がスイッチ操作で設定を変えることができます。

誤操作などで意図せず設定が変わってしまうのを防ぐセーフティモードもあります。

5-1. 設定ソフトを使用しない設定

● スピード変更

設定ソフトを使用せずスイッチ操作でカーソルスピードを変えられます。

- (1) スイッチを「―――」(長長短長)と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階速くなります。
- (2) スイッチを「-・-」(長短長長)と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階遅くなります。
- (3) 同じ操作を行うごとにスピードが変化します。
- (4) 一段階あたりのスピードの変化量が設定ソフトより小さいため、細かいスピード設定ができます。
- (5) 設定したスピードは記憶され次回の起動時に変更後のスピードで動作します。
- (6) 設定ソフトでカーソル移動スピードを変えると、上記変更は解除され、設定ソフトによるスピードで動作します。

● 加速時間の変更

カーソル移動開始時の低速移動スピード、低速移動時間、加速時間を変えられます。

- (1) 移動開始時、カーソルは一定時間低速で移動し、その後設定したスピードまで加速します。
- (2) 移動開始時のスピードはスイッチを「-・-」(短長)と押したときの低速移動スピードと同じです。
- (3) スイッチを「-・-」(長短長長)と押すと、低速移動スピードが一段階速くなります。
- (4) スイッチを「-・-」(長短長短)と押すと、低速移動スピードが一段階遅くなります。
- (5) スイッチを「-・-」(長短長短)と押すと、低速移動の時間が一段階短くなります。
- (6) スイッチを「-・-」(長短長短)と押すと、低速移動の時間が一段階長くなります。
- (7) スイッチを「-・-」(長短短長)と押すと、加速時間が一段階短くなります。
- (8) スイッチを「-・-」(長短短短)と押すと、加速時間が一段階長くなります。
- (9) 設定ソフトの「終了/変更」(一番下の項目)で「4:標準値に戻す」を実行すると、これらの変更は初期化されます。(他の設定も初期化されるので再度設定を行ってください)

● ワンキー・マウスを使い慣れた方が反応を遅く感じる場合

- (1) 出荷時の設定は、PCやスイッチを使うのが初めての方でも操作できるよう、遅めの設定です。
カーソル移動開始時のスピードが遅く感じる場合は、以下の設定を変えてみてください。
 - ① 低速移動スピードを上げ 「-・-」
 - ② 低速移動時間を短く 「-・-」
 - ③ 加速時間を短く 「-・-」
- (2) 最速最短に設定すれば、移動開始時から最終速度で動くようになります。
- (3) 最終速度は設定ソフトまたはスイッチ操作「―――」で速くできます。
- (4) 設定ソフトで「短押し後連続操作時間」を短くすると、短押しでスイッチを離してからカーソルが動き出すまでの時間が短くなります。

● Mac 用設定

Mac OS での使用に適した設定に変わります。

- (1) Mac 用設定にせずに Mac OS で使用することも、Mac 用設定にして Windows で使用することも可能です。
- (2) Mac 用設定にすると以下の点が変わります。
 - ① 同じスピード設定にしたときカーソル移動スピードが速くなります。
 - ② スピード設定を変えたとき変化量が小さくなります。
 - ③ 通常スピードと低速移動スピードの比が小さくなります。

- ④ スクロールホイール操作時のスクロール量が大きくなります。
- ⑤ 設定ソフト操作時の動作が安定します。
- (3) スイッチを「-----・」(長押し 7 回 + 短 1 回)と押すと、Mac 用設定が設定／解除されます。
- (4) Mac 用設定はワンキー・マウス内に記憶され次回の起動時も同設定で動作します。

● 設定切り換え

- (1) ワンキー・マウスはA、B2種類の設定内容を持ち、随時切り換えることができます。
- (2) 起動時は設定Aで動作します。
- (3) 設定Bで動作中に長押し5回で設定Bに切りかわります。(ブザーが2回鳴ります)
- (4) 設定Bで動作中に長押し5回で設定Aにもどります。(ブザーが1回鳴ります)
- (5) 設定ソフトなどで設定変更を行うと、設定 A で動作中は設定 A の内容、設定 B で動作中は設定 B の内容が変わります。
- (6) 設定A、Bそれぞれの初期化とAB入れ換えができます。(接続先設定がPCのときのみ可能)
- (7) 操作スイッチを「-----」(長押し6回)と押ししてください。
これは設定ソフトの起動操作ですが、設定ソフトなしで設定を行います。
- (8) カーソルが上下左右に細かく動きます。カーソルが停止するまで10秒待ってください。
- (9) 現在の設定を設定Aの出荷時設定(スピード遅め)と同じに初期したい場合、
操作スイッチを「-----・」(長長長短短)と押ししてください。
- (10) 現在の設定を設定Bの出荷時設定(スピード速め)と同じに初期したい場合、
操作スイッチを「-----」(長長長短長)と押ししてください。
- (11) 現在の設定 A と設定 B の内容を交換したい場合(起動時の設定を B と同じにしたい場合)
操作スイッチを「-----・」(長長長長短)と押ししてください。
- (12) (3)～(5)を行うと初期化／交換が行われ、ブザーが鳴って通常状態に戻ります。
- (13) (1)の操作後「-----」(長押し3回)を行うと、設定を変えずに通常状態へ戻ります。

● 既定値での起動

- (1) スイッチを押した状態で起動(USB プラグを抜き差し)すると、既定値設定(出荷時の設定)で動作します。
- (2) 設定変更を誤り変更操作自体が困難になった場合などに使用します。
- (3) 既定値での起動は一時的で、次回起動時は設定されている内容で起動します。
- (4) 既定値で起動した状態で設定変更を行うと、その内容は保存され、次回起動時はその内容で起動します。

● 接続先切り換え

スマートホンモード、セーフティモードへの切り換えをおこないます。

- (1) スイッチを長4回短4回「-----.....」と続けて押すと、現在の設定内容によりブザーが1回から4回鳴ります。
- (2) この時点では接続先は切りかわりません。
- (3) ブザーは約2秒間隔で約20秒間繰り返し鳴ります。

- (4) スイッチを操作せず約20秒経過すると、通常状態に戻ります。
- (5) ブザーが繰り返し鳴っている間に、スイッチを短く1回押すと、通常状態に戻ります。
- (6) ブザーが繰り返し鳴っている間に、スイッチを長4回短4回「-----」と続けて押すと、接続先設定が順に切りかわり、ブザーの鳴る回数も変わって(3)の状態になります。
- (7) 接続先の設定は電源を切っても保持され、次回も同じ設定で起動します。
- (8) 接続先設定とブザー回数の対応は表の通りです。

ブザー回数	接続先設定	備考
1	PC	出荷時設定
2	PC(セーフティモード)	設定変更許可/禁止
3	スマートホン(Androidモード2)	
4	スマートホン(Androidモード3)	

● **セーフティモード(設定変更許可/禁止)**

カーソルスピードなどの設定変更ができないようにしたモードです。操作スイッチの誤操作で設定が意図せず変わるのを防ぐことができます。

- (1) 接続先切り換え操作でセーフティモード(ブザー2回)に設定すると、セーフティモードとなります。
- (2) セーフティモードでは、以下の操作が無効となります。

項 目	内 容
第2の設定へ切り換え	常に第1の設定で動作
設定ソフト起動	無効
スピード アップ/ダウン	許可時の設定内容で動作
低速移動スピード アップ/ダウン	
低速移動時間 短く/長く	
加速時間 短く/長く	
Mac/Win 切り換え	

- (3) カーソルスピードなどの設定を変えたいときは、接続先切り換え操作を行って一旦PCモード(ブザー1回)に戻し、設定変更後に接続先切り換え操作を行ってセーフティモードにしてください。
- (4) セーフティモードからスマートホンモードに切り換えるときは、一旦PCモードに切り換えて切り換え操作を終了し、もう一度切り換え操作を行ってください。
(セーフティモードからはPCモードにのみ変更できます)

● 節電

スイッチ操作を行わないで一定時間経過したときに、節電状態になるよう設定できます。

- (1) 節電状態ではPC/Androidとの接続が切れ、ごくわずかな電力消費になります。
- (2) Androidで使用する場合、節電状態でスイッチ操作を行うと通常状態に復帰します。
- (3) PCで使用する場合、ワンキー・マウスが節電状態になり、PCもスリープ状態になると、スイッチ操作で復帰できなくなることがあります。その場合は節電なしで使用してください。
- (4) 節電までの時間は以下の方法で設定します。

- ① 操作スイッチを「-----」(長長長長短短短短)と押してください。
ブザーが一定間隔で繰り返し鳴ります。
- ② 操作スイッチを「-----」(長長長長短短長長)と押してください。
設定値が+1され、新しい設定値の数だけ(1から4回)ちがう音でブザーが鳴ります。

ブザー	節電までの時間
1回	節電なし
2回	30秒
3回	3分
4回	10分

- ③ 設定値をさらに変えたい場合は、(2)を繰り返してください。
- ④ ブザー4回の次は1回(節電なし)に戻ります。
- ⑤ 操作スイッチを短く1回押すと、新しい設定で通常状態に戻ります。

● 設定ソフトを使用せずに設定できる項目

設定項目	設定内容	スイッチ操作	範囲
カーソルスピード		通常状態(カーソル停止)から	
	スピードアップ	----	16段階
	スピードダウン	----	16段階
	低速移動スピードアップ	-----	16段階
	低速移動スピードダウン	-----	16段階
	低速移動時間短く	-----	16段階
	低速移動時間長く	-----	16段階
	加速時間短く	-----	16段階
	加速時間長く	-----	16段階
接続先/節電		-----の後	
	接続先(PC/Android)	-----	4種
	携帯打ち	-----	あり/なし
	節電	-----	4段階
	間引き送信(Bluetooth)	-----	10段階
初期化/入れ換え		-----の後	
	遅めの設定に初期化	-----	
	速めの設定に初期化	-----	
	AとBの設定を入れ換え	-----	

5-2. 設定ソフトによる設定

設定変更ソフトを使用して操作方法、動作のしかた、スピードなどを変えられます。

●設定できる項目

- (1) カーソル移動方向:
 - 4方向(上下左右)
 - 8方向(上下左右と斜め 45 度方向)
- (2) カーソルが曲がる時の向き:
 - 右(時計回り)
 - 左(反時計回り)
- (3) カーソル移動開始時の方向:
 - 上、下、左、右
- (4) ブザーの鳴らし方:
 - なし(鳴らさない)
 - 長押し時
 - 押し始め+長押し
 - 押し始め+長押し時+確定(実行)時
- (5) スイッチの長2回押し操作:
 - ダブルクリック
 - 右クリック
- (6) スイッチの長3回押し操作:
 - ダブルクリック
 - 右クリック
 - 中(スクロール)ボタン
 - ワープ(直前方向へ高速移動)
 - 画面左上隅にジャンプ(Appleメニュー)
 - 画面左下隅にジャンプ(スタートボタン)
 - 画面右下隅にジャンプ
 - 画面右上隅にジャンプ(クローズボタン)
- (7) スイッチの長4回押し操作:
 - ダブルクリック
 - 右クリック
 - 中ボタン
 - ワープ
 - 画面左上隅にジャンプ
 - 画面左下隅にジャンプ
 - 画面右下隅にジャンプ
 - 画面右上隅にジャンプ
- (8) 右クリック後カーソルを右下に少し移動:
 - なし
 - あり(メニュー項目を選択しやすくする)

(9) カーソル移動スピード:8段階

スイッチの「長長短長」または「長短長長」操作でスピード調整を行った場合はその設定が優先されます。

(10) スイッチ操作の長短判別時間:8段階

スイッチが長く押されたと判断する切り分け時間を設定します。数字が大きいほど短くなります。

(11) スイッチを短く押した後の待ち時間:8段階

スイッチを短く押す操作の後の待ち時間を設定します。待ち時間の間はカーソルが移動しないので続けて操作するとカーソルは直接希望の方向に向かって移動します。

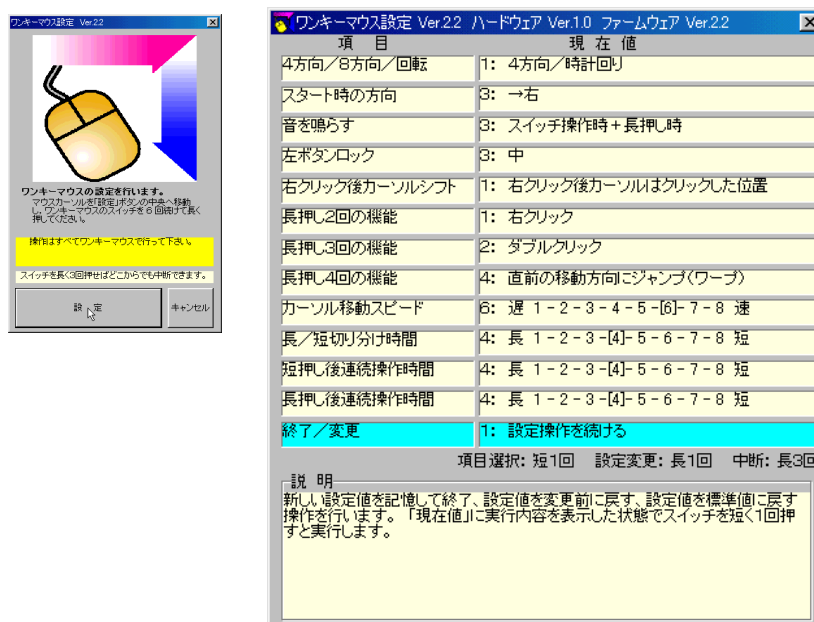
(12) スイッチを長く押した後の待ち時間:8段階

スイッチを長く押す操作の後の待ち時間を設定します。短く設定すると操作から実際のクリック動作までの時間が短くなりますが、連続操作の時にスイッチを素早く押す必要があります。

● Windows での設定



- (1) okmouse2 を起動します。
- (2) マウスカーソルを【設定】ボタンの中央へ移動して止め、スイッチを長く6回続けて押してください。ブザーが鳴り、「設定読み込み中」と表示されます。
- (3) 読み込みが終了すると設定画面が表示されます。

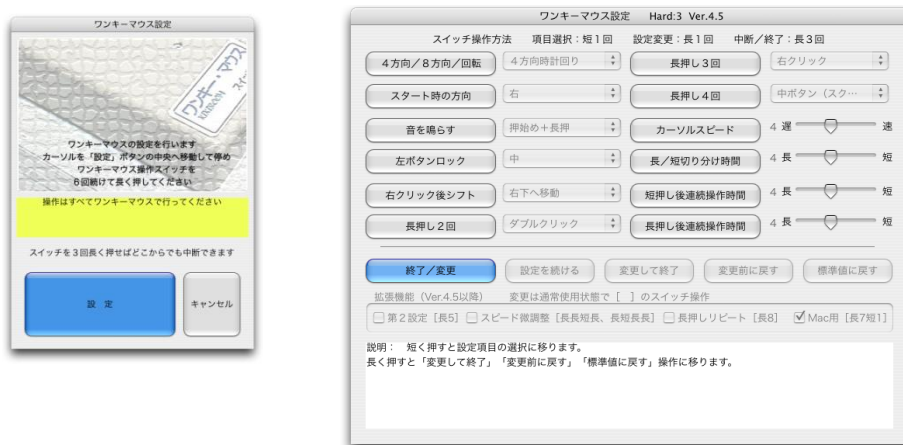


- (4) 画面で水色の部分が現在選択されている項目です。
- (5) 項目を移動するには短く1回押します。
- (6) 項目の内容を変更するには、スイッチを長く1回します。項目が黄色に変わります。
- (7) 項目が黄色の状態ですwitchを長く1回押すと、「現在値」が順に変わります。
- (8) その項目の変更が終わったら、スイッチを短く1回押すと項目が水色に戻り項目移動ができるようになります。
- (9) すべての設定が終わったら一番下の項目を選択し、スイッチを長く1回押す操作を行って「2: 記憶して終了」を表示させ、スイッチを短く1回押してください。設定値がワンキー・マウスに記憶され、設定動作を終了します。

- (10) 一番下の項目で「3: 変更前に戻る」を表示させ、スイッチを短く1回押すと設定変更前の値にもどります。
- (11) 一番下の項目で「4: 標準値に戻す」を表示させ、スイッチを短く1回押すと出荷時の値にもどります。
- (12) スwitchを長く3回押すとどこからでも設定を中断して終了します。
この場合それまでに行った変更は記憶されません。

● Mac OSXでの設定

- (1) Ok5Xmac を起動します。
- (2) マウスカーソルを【設定】ボタンの中央へ移動し、カーソル操作スイッチを長く6回続けて押してください。ブザーが鳴り、「データ読み込み中」と表示されます。
- (3) 読み込みが完了すると設定画面が表示されます。



- (4) 画面で青のボタンが現在選択されている項目です。
- (5) 項目を移動するにはスイッチを短く1回押します。
- (6) 項目の内容を変更するにはスイッチを長く1回押します。今までグレーだった設定内容が変更可能な状態になります。
- (7) 変更可能な状態でスイッチを長く1回押すと、設定値が順に変わります。
- (8) その項目の変更が終わったら、スイッチを短く1回押すと設定値がグレーに戻り項目移動ができるようになります。
- (9) すべての設定が終わったら一番下の項目を選択し、スイッチを長く1回押す操作を行って「変更して終了」を選択(青表示)し、スイッチを短く1回押すと設定値がワンキー・マウスに記憶され、設定動作を終了します。
- (10) 一番下の項目で「変更前に戻る」を選択し、スイッチを短く1回押すと設定変更前の値にもどります。
- (11) 一番下の項目で「標準値に戻す」を選択し、スイッチを短く1回押すと出荷時の値にもどります。
- (12) スwitchを長く3回押すとどこからでも設定を中断して終了します。この場合それまでに行った変更は記憶されません。
- (13) 画面の下の方に「拡張機能」として第2設定、スピード微調整、長押しリポート、Mac 用の各選択状態が表示されます。これらは状態表示のみで設定ソフト内での変更はできません。通常使用状態に戻ってスイッチ操作で設定を行ってください。

- **Mac で設定ソフトを起動できない場合**

OSXでは AppStore 以外から入手したソフト(アプリ)を実行できないことがあります。

設定ソフトを起動できない場合は以下の操作を行ってください。

- (1) ソフトを「アプリケーション」または「デスクトップ」にコピーしてください。
- (2) ダブルクリックではなく右クリック(control+クリック)で「開く」を実行してください。
- (3) 「. . . 開いてもよろしいですか」という画面が出たら「開く」をクリックしてください。
- (4) 次回からはダブルクリックで直接実行できます。

- **スマートホンで使用する場合の設定変更**

- (1) 設定ソフトはスマートホン(Android)では動作しません。
- (2) スマートホンで使用するワンキー・マウスの設定を変更したい場合は、
一時的に PC(Windows または Mac)に接続して PC 上で設定を行ってください。
- (3) 設定値はワンキー・マウス内に保存され、PC 内には残りません。

- **設定時の注意**

- (1) 第2の設定の内容を変更したいときはあらかじめ第2の設定に切り換えた状態(長5回)で設定ソフトを起動してください。
- (2) 既定設定値で起動(スイッチを押した状態で USB プラグを差し込む)して設定ソフトを起動すると、第1の設定の値が変わります。
- (3) 設定した内容はコンピュータではなくワンキー・マウス内に記憶されるので、設定だけを他のコンピュータで行うこともできます。
- (4) 設定ソフト起動後は全ての操作をワンキー・マウスで行ってください。
他のマウスやキーボードで操作を行うとエラーとなり設定ソフトは異常終了します。
- (5) 設定ソフトが異常終了したときは、スイッチを長く3回押してワンキー・マウスを通常状態にもどしてください。

改訂:2017年3月29日

Rev.6.0

初版:2000年4月16日

Rev.1.0